

「インフラ管理DXワーキンググループ」の開催について

経 済 産 業 省
デ ジ タ ル 庁
独立行政法人情報処理推進機構

1. 趣旨

人口減少が進むなかでもデジタルによる恩恵を全国津々浦々に行き渡らせるため、自動運転やドローン物流等のデジタル技術を活用したサービスについて、「実証から実装へ」「点から線や面へ」の移行を加速化し、中山間地域から都市部に至るまで、デジタル実装の前提となる基盤整備を強力に推進する必要がある。このため、経済産業大臣の下で、関係省庁が一丸となり、既存の取組を踏まえつつ、デジタルを活用したサービス提供に必要なハード・ソフト・ルールといったデジタルライフラインのアーキテクチャや仕様・スペックの具体化、政府・自治体・企業を含む官民の役割分担、長期にわたり全国規模で講じる取組等を定めるデジタルライフライン全国総合整備計画を策定するため、デジタルライフライン全国総合整備実現会議（以下、「会議」）を開催することとしている。

計画の中でアーリーハーベストプロジェクトの一つとして位置付けられる「インフラ管理DX」に関して、アーキテクチャを整理した上で、具体性を整理するとともに、その普及シナリオ（先行地域含む）、役割・定義の具体案等について議論するため、会議の下に、インフラ管理DXワーキンググループ（以下「WG」という。）を開催する。

2. 構成員

WGは、別紙に掲げる者をもって構成する。ただし、座長は、必要と認める場合、構成員を追加することができる。

3. 検討事項

WGの検討事項は以下の通りとする。

- ・「インフラ管理DX」に関して、アーキテクチャを整理した上で具体例を整理するとともに、その普及シナリオ（先行地域含む）、役割・定義、運営主体や計画について議論を行う。また、ハード、ソフト、ルールそれぞれのデジタルライフラインに対する要求事項を整理して、アーキテクチャWGへのインプットに繋げる。

4. 庶務

WGの事務は、関係行政機関の協力を得て、経済産業省、デジタル庁及び独立行政法人情報処理推進機構において処理するものとする。

5. 公表等

議事録及びWGにおいて配布された資料は、原則として、公開する。

6. その他

前各項に定めるもののほか、WGの運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

「インフラ管理DXワーキンググループ」構成員名簿

| | | |
|-----------|--|--|
| 座長 | おおもと けんいち 大許 賢一 | 日本電信電話株式会社 技術企画部門統括部長 |
| 構成員（関係省庁） | 内閣官房 デジタル庁 総務省 経済産業省 国土交通省 独立行政法人情報処理推進機構 | デジタル田園都市国家構想実現会議事務局参事官 国民向けサービスグループ企画官 総合通信基盤局電気通信事業部基盤整備促進課長 商務情報政策局情報経済課長 都市局都市政策課長 理事長 |
| 構成員（有識者） | あきば ようへい 秋葉 陽平 | 株式会社NTTデータ ビジネス開発担当部長 |
| | いがわ こうさく 井川 甲作 | 株式会社EARTHRAIN 執行役員CIO |
| | おりはら だいき 折原 大樹 | ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット統括 データ基盤戦略本部 副本部長 |
| | さくらい わたる 桜井 亘 | 石川県 土木部参事 |
| | ささき おさむ 佐々木 理 | 東日本電信電話株式会社 エンジニアリング部地域あんしん推進部門長 |
| | しばさき りょうすけ 柴崎 亮介 | 東京大学 特任教授 |
| | たかき よういちろう 高木 洋一郎 | エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社 SmartInfra推進部 SIビジネス部門長 |
| | のむら あきら 野村 光 | 東京電力パワーグリッド株式会社 技術・業務革新推進室長 |
| | ほりうち としひろ 堀内 俊宏 | 東京ガスネットワーク株式会社 技術革新部 技術統括グループマネージャー |